

平成20年度本部関係事業計画書
(平成20年3月18日 通常総会提出)
社団法人 化学工学会

平成20年度重点施策

化学工学の飛躍と挑戦
～VISION2011の実現に向けて～

1. 会員サービスの充実
 - ・ 会員にとって魅力ある支部・部会活動
 - ・ 技術者資格制度の社会的認知と定着
 - ・ 論文誌の電子ジャーナル化
2. 産学連携の緊密化による社会貢献
 - ・ 化学工学会によるインターンシップ制度の充実
 - ・ 「先端化学産業技術プログラム」拡充による産学官交流の推進
 - ・ 部会における産学連携の推進
3. 学会活動の社会への発信
 - ・ HP充実による学会活動(部会・人材)の発信
4. 国際交流活動の充実
 - ・ 欧米、中国、韓国、ASEAN 各国との学术交流の活性化
 - ・ 英文HPの充実化、世界にむけての情報発信

[1] 名誉会員・化学工学会賞
名誉会員候補者の推薦
化学工学会賞候補者の決定

[2] 本部大会
第73年会 (平成20年3月17日～19日) 静岡大学
第40回秋季大会(平成20年9月24日～26日) 東北大学

[3] 刊行物

1. 会誌

(1) 「化学工学」誌 第72巻No.1～12号 (12冊)

ページ数 : 80ページ/号平均

部数 : 9,200部/号平均

(2) 「化学工学論文集」第34巻No.1～6 (6冊)

ページ数 : 110ページ/号平均

部数 : 1,250部/号平均

(3) 英文誌 “ JOURNAL OF CHEMICAL ENGINEERING OF JAPAN ”
第41巻No.1～12 (12冊)

ページ数 : 115ページ/号平均

部数 : 1,050部/号平均

2. 不定期刊行物

- 最近の化学工学 [59] (関東支部編)
- 化学工学の進歩 [41] (東海支部編)
- 分離プロセス工学 (分離プロセス部会)
- 超臨界流体入門 (超臨界流体部会)

[4] センター、C T、委員会活動

1. 地域C T

- ・支部活性化のインセンティブを検討
- ・地域C T役割の見直し

2. 部会C T

- ・会員にとって魅力ある部会活動の検討
- ・設立後8年間を経過した部会の評価の実施

3. 産学官連携センター

(1) 常置委員会活動

開発型企業の会、SCE・Net、グローバルテクノロジー委員会
経営システム研究委員会

(2) 運営会議関連の活動

- ・年会における「先端化学産業技術プログラム」の開催
- ・化学工学会によるインターンシップの推進

4. 情報サービスセンター

- ・学会誌、内容の充実を検討
- ・和文誌、電子投稿・電子査読の検討
- ・ホームページ委員会の立ち上げと現行ホームページの全面更新
- ・広告委員会の立ち上げと化工誌・ホームページとリンクした広告獲得拡大

5. 人材育成センター

(1) 理科教育委員会

- ・学生発表会 3月1日 東地区：群馬大学、西地区：関西大学
- ・第9回関東地区中高教諭とケミカルエンジニア交流のための見学講演会

(2) 高等教育委員会

- ・化学工学の教科書活用方法、今後の方向
- ・FD、デザイン教育、技術者倫理の今後の活動
- ・非常勤講師活用検討
- ・インターンシップ産学連携検討

(3) 教育審査委員会

- ・平成20年度化学分野審査：本格審査、中間審査、継続審査を実施、
大学院修士課程審査を実施

(4) 継続教育委員会

- ・既存の継続教育プログラムの実施
- ・中核人材育成事業実証講座のテキスト作成及び実施協力

- (5) 経営ゼミナール委員会
 - ・例年通り、関西、東京、東海、つくばセッションを各 1 泊 2 日で実施。
 - ・過去の受講者対象の特別講演会を実施。
 - (6) 資格制度運営委員会
 - ・平成 1 9 年度に引き続き、上席化学工学技士試験、化学工学技士試験、化学工学修習士・審査・登録を実施
- 6 . 戦略企画センター
- ・創立 7 5 周年準備委員会の設立と運営
 - ・戦略的学会運営のための仕組みづくりの検討
 - ・戦略シンクタンク委員会を中心に日本化学連合に対する対応の検討
- 7 . 国際交流委員会
- (1) 中国委員会
 - 中国委員会 3 回、中国懇話会 3 回
 - APCChE2008 2 0 0 8 年 8 月 4 ~ 6 日 Dalian , China (大連) への対応
 - 中国化工学会との関係(今後のあり方、日中化工シンポ、海外化工会員他
 - (2) 韓国委員会
 - 第 2 1 回化学工学に関する日韓シンポジウム
 - 時期：1 2 月 6 日 ~ 7 日 (予定)
 - 場所：佐賀大学 (予定)
 - 発表件数：2 5 0 件程度 (予想)
 - (3) 欧米委員会
 - A I C h E 2 0 0 8
 - Philadelphia Marriott & Pennsylvania Convention Center
 - November 16 - 21 , 2008 , Philadelphia , PA
 - (4) 会長特命事項
 - 1) 海外 (主にアジア圏) の研究者、技術者への情報発信
 - *学会本部で再検討している英語版ホームページの設計、構築に協力
 - *日韓、日中シンポジウム、化学工学 Regional Symposium などの宣伝
 - *環太平洋アジア戦略 WG で企画している英語版ニュースレターの作成とメール配信を開始
 - 2) 海外会員資格等の再検討
 - *国際交流委員会で海外会員資格設定等の再検討を開始
 - 3) 国際交流委員会環太平洋アジア戦略 WG 活動の推進
 - *英語版ニュースレターのメール配信先の調査とリスト作成
 - *英語版ニュースレターの企画とメール配信の開始
 - *化学工学国際交流奨励賞 (仮称) の検討
- 8 . リエゾン委員会
- ・各種調査等への協力
- 9 . 表彰委員会
- ・平成 2 0 年度化学工学会賞候補者の審査
- 1 0 . 男女共同参画委員会
- ・第 5 回女子学生のためのイブニング就職セミナーを開催

- ・女性会員からのメッセージを HP に掲載
- ・73年会でシンポジウムを戦略シンクタンク委員会と合同で企画

11. 会員増強委員会

- ・「JST支援の未公開特許技術発表会」を実施

[5] 事業

1. 夢・化学 - 21 キャンペーン事業

- 化学工学会を含む4団体主催、文部科学省・経済産業省後援
- 「全国高校化学グランプリ2008」「国際化学オリンピック」
- 「夏休み子供化学実験ショー」
- 「週末実験教室」

2. ECOMA (製造業環境・エネルギー対策展) 2008 を開催予定

- INCHEM TOKYO 事業基盤強化のため
- 平成20年9月10日(水)～9月12日(金) 東京ビッグサイト

3. 受託調査・研究事業応募予定

(1) 経済産業省

- 「中小企業産学連携製造中核人材育成事業」実証講座の実施
- プロジェクトコーディネーター 伊藤 俊明

(2) JST (科学技術振興機構)

- 「化学装置の腐食防食に係る技術者 Web 教材制作」
- 主査 酒井 潤一(早稲田大学)

(3) (株)日鉄技術情報センター

- 「省エネルギー技術戦略に関する調査」

[6] 支部事業

- 別表「平成20年度各支部事業計画」参照